取扱説明書 保管用

yamada

SE-7012

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品番	適合電球	本体重量
SE-7012	B-15d ｱﾙﾐﾐﾗｰ付ﾊﾛｹﾞﾝ電球 12V50W ×１個（ﾌｨﾘｯﾌﾟｽ製）	0.5ｋｇ

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

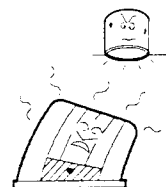
❗ 電球をロッドに触れさせないでください。
★ロッドには絶縁カバーが施してあります。触れた場合、器具の変形・変質による異常過熱、熱損事故の原因となります。

❗ ライティングダクト取り付け専用型です。専用ライティングダクト以外には設置できません。
専用ライティングダクト（ＴＧ－１６９）及びフィードインボックス（ＴＧ－１７０～１７２）を別途お買い求めください。
★異常加熱による熱損事故の原因となります。

⊘ 次のような場所には取り付けないでください。
○壁面以外の場所
○補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
○凸凹のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⊘ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

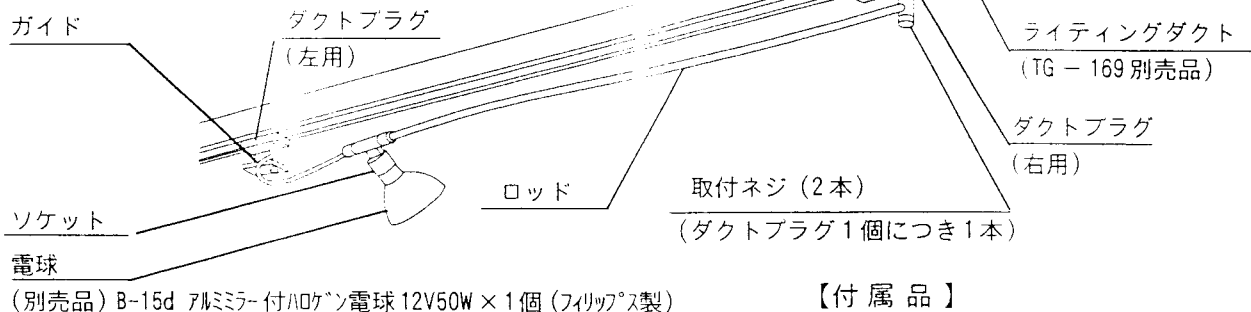
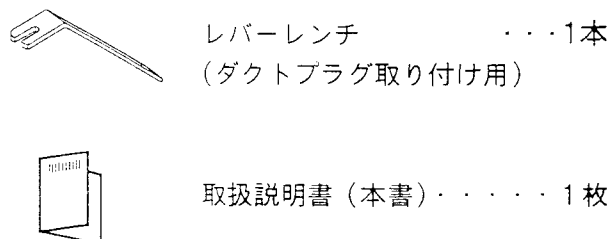
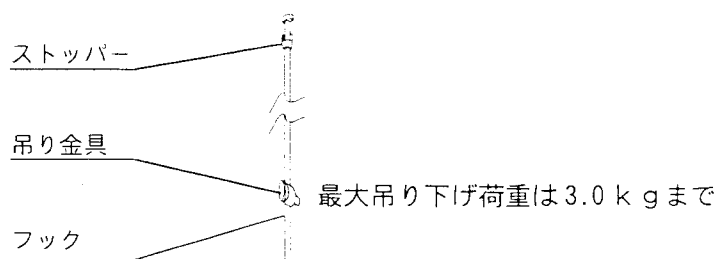
❗ ＡＣ12Ｖ専用です。必ずＡＣ12Ｖの電源で使用してください。
**★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラツキなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。**

❗ 器具の開口面と照射する物(被照射面）との距離は１ｍ以上離して設置してください。
★被照射物の変形や、焼損事故の原因となります。

❗ ＳＥ－７０１１は吊り具が付属されています。最大吊り下げ荷重は3.0ｋｇまでです。
★３.０Ｋｇ以上の物を吊り下げないでください。「けが」や物損事故の原因となります。

⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

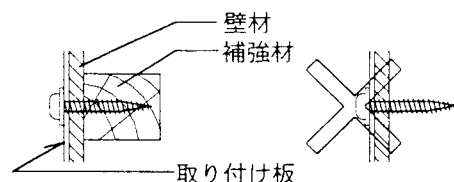
各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

取り付け場所の確認

⚠警告 ❗

ライティングダクト取り付け専用型です。専用ライティングダクト以外には設置できません。
専用ライティングダクト（ＴＧ－１６９）及びフィードインボックス（ＴＧ－１７０～１７２）を別途お買い求めください。
ライティングダクトの取り付けは、重量の耐える所に説明書にしたがい確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具が落下しケガや火災、感電事故の原因となります。

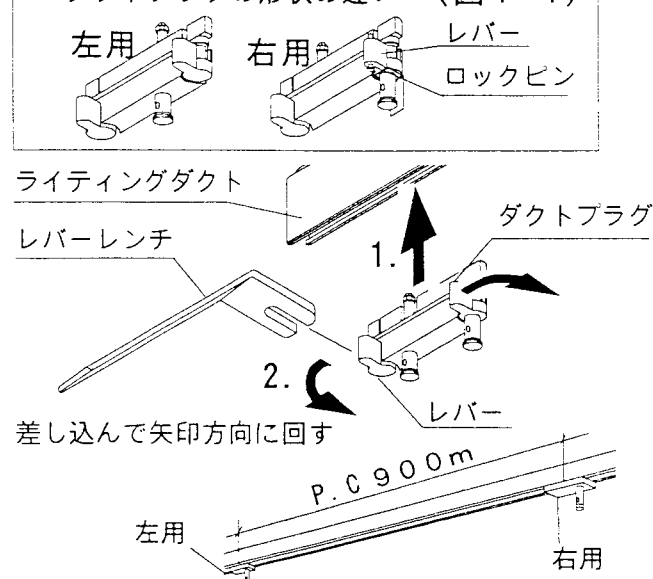
ライティングダクトを木ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けると器具の落下事故の原因となります。
建築の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがまれにあります。その様な場合には、器具取付場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

壁材
補強材
取り付け板

❗ 器具の取り付けは、重量の耐える所に説明書にしたがい確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具が落下しケガや火災、感電事故の原因となります。

取り付け方

⚠注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

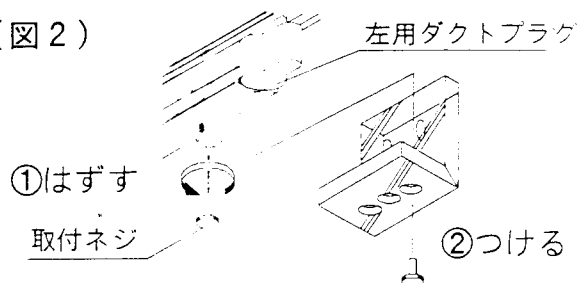
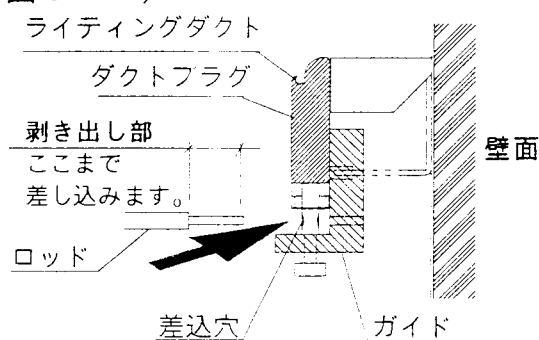
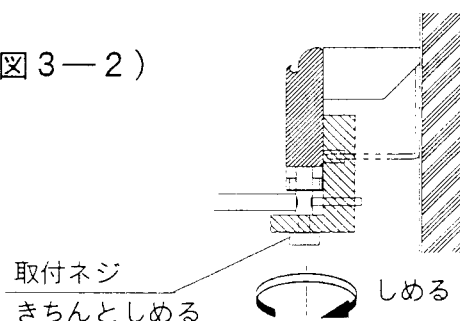
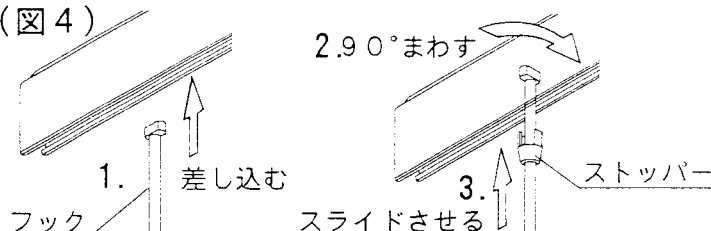
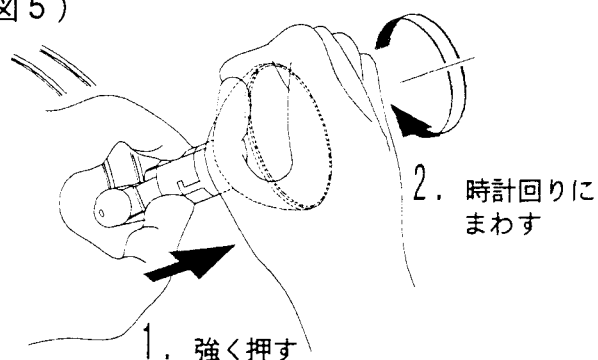
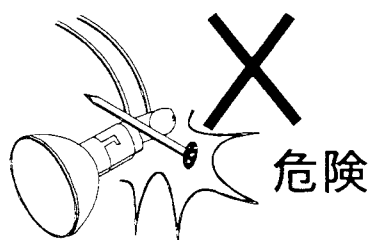
⚠警告 ❗

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

別売の専用ライティングダクト（ＴＧ－１６９）及びフィードインボックス（ＴＧ－１７０～１７２）を前もって設置してください。

1. ライティングダクトに取り付けます。

①ダクトプラグには左用・右用があります。（図１─１）
取付の間違えのないようご注意ください。
左用─ロックピン無し　右用─レバーにロックピン有り

②ダクトプラグをライティングダクト（ＴＧ－１６９･別売品）に挿入し､付属のレバーレンチで両側へ各々９０°回転させてください。右用は取り付け後に必ずロックピンでロックしてください。
２つのダクトプラグの取り付けピッチは９００ｍｍです。

⚠注意 ❗ レバーを９０°以上回転させないでください。
★レバーを９０°以上回転させるとダクトプラグが変形し、接点不良の原因となります。
★取り付けに不備があると、器具が落下しケガや火　災、感電事故の原因となります。

2．左用ダクトプラグにガイドを取り付けます。（図2）

①取付ネジをゆるめてはずします。

②ガイドをダクトフラグの金属突起部に通し取付ネジを仮止めの状態で取り付けます。

3．ロッドを取り付けます。

●左用ダクトプラグの場合　（図3—1）

①ロッドをダクトプラグの金属突起部の差込穴およびガイドの穴まで貫通させます。
ロッドの差し込み深さは剥き出し部までです。

②ロッドがねじれないよう差込部を微調整しながら取付ネジをしっかりと締め付けます。　（図3—2）

●右用ダクトプラグの場合

①ロッドをダクトプラグの金属突起部の差込穴まで貫通させます。
ロッドの差し込み深さは剥き出し部までです。

②ロッドがねじれないよう差込部を微調整しながら取付ネジをしっかりと締め付けます。

⚠注意 ❗ 取付ネジはしっかり固定してください。
★固定されていない場合、接点不良の原因になります。

4．フックをセットします。(図4)

フックをライティングダクトに差込み、９０°回転させてからストッパーを吊り元にスライドさせて固定します。
吊り金具の最大吊り下げ荷重は３．０ｋｇです。

⚠注意 ❗ 最大吊り下げ荷重より重い物を吊らないでください。
★フックが破損して物損・けがの原因となります。

5．電球をセットします。(図5)

ソケットの金属部を電球側に強く押しながら、もう一方の手で電球を矢印方向にひねります。

⚠注意 ❗ 電球は乱暴に扱わないでください。
★電球が割れてけがをする恐れがあります。

6．照射角度を調整します。

電球をもって調整します。
首振り角度は、縦方向にのみ約３６０° 回転します。

⚠注意 ❗ （図6）
この製品は、低電圧(12Ｖ)仕様で、点灯回路は、ロッド部をそのまま電路としています。
そのため、ロッドには絶縁カバーが施されいますが、ソケットやダクトプラグなど一部には絶縁カバーがありません。素手で触っても全く心配ありませんが、金属等で両極を同時に接触させるとショートしますのでご注意ください。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を　：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

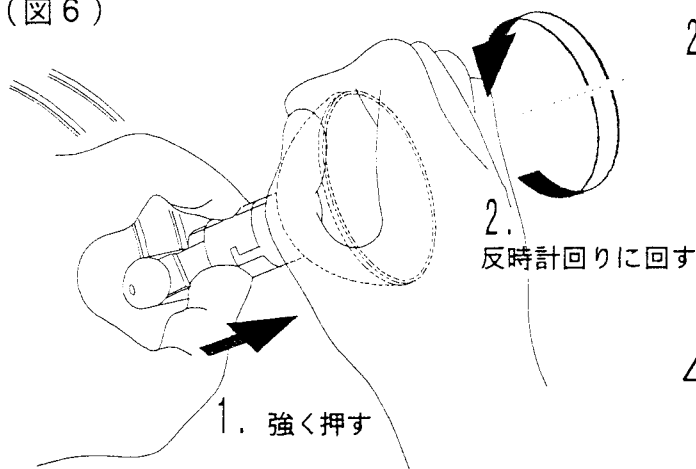
●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　★感電事故の原因となります。

●電球は乱暴に扱わないでください。　★電球が割れてけがをする恐れがあります。
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると不点灯や点灯不良（チラつきや立ち消えなど）の原因となります。また、安定器の異常加熱などによる火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆電球の交換

1．スイッチを切ります。

（図６）

2．電球をはずします。（図６）

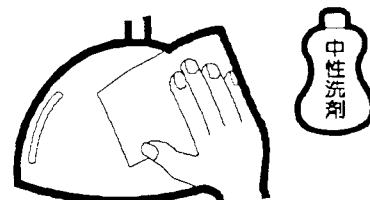
ソケットの金属部を電球側に強く押しながら、もう一方の手で電球を矢印方向にひねります。

⚠注意　電球は乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

3．新しい電球をセットします。

『●取り付け方』の「5．電球のセット」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。